

KOCHI ROTARY CLUB

2023
2024

SINCE 1937



世界に希望を生み出そう
2023-24年度 RIテーマ

週報



Weekly report

第3560回
第3561回

2023年 9月26日

2023年10月 3日

2023年10月10日発行

● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。思い込みというのは恐ろしいものだということを実感しました。先週金曜日、親睦委員会が会員選考、会員増強、プログラム委員会との合同交流会をセットしてくださいました。大体、夜の会は18時半から始まると思いついていました。

当日は18時からのスタートでした。私だけでなく、幹事も同じように思い込んでいて、会長幹事が揃って遅刻してしまいました。参加された皆さんには、大変ご迷惑をおかけしました。この場をお借りして改めてお詫びを申し上げます。

翌日の土曜日は、高知第I分区分と第II分区分の米山協議会が行われ、私は初めて参加しました。高知市内のクラブでは現在4人の米山記念奨学生をお世話していますが、その4人の奨学生に、現在の活動や卓話を聞かせていただきました。

中央RCがお世話しているポーさんは、県立大学の学部生。地域創生や活性化の勉強をしています。高知ロイヤルRCがお世話しているソウさんは、高知大学大学院で魚類を

中心とした地球温暖化の研究。高知北RCでお世話しているザハラさんは、高知大学で同位体地球化学、プレート型地震にも関係する研究。我が高知RCでお世話しているインドネシアのシティさんは、工科大学で交通工学の研究、ということで、お話を聞いていると本当に皆さん、面白い勉強をされているなど改めて思いました。今後、シティさんも含めて、卓話でお話を聞く機会もあろうかと思えます。

留学生の方たちが高知に来て、皆さんと交流しながら自国と日本をつないだり、あるいは将来、日本で住んで活躍していくのではないかと感じました。

翌日曜日は、ロータリー財団委員会と社会奉仕委員会によるイベントがにぎやかに開催されました。朝夕だんだん涼しくなり、少し秋めいた中で、いいイベントだったと思います。

先週末はいろいろな行事があったことをご報告いたしました。それと、少し先のことですが、11月23日に、久しぶりに日帰りのバスツアーを親睦委員会が計画しています。行き先はしまなみ方面とのことですが、煮詰まった段階で、詳細を皆さんにご連絡したいとの報告を受けています。



■ 本日のプログラム [10月10日]

ゲストスピーチ

(株)ドリームメーカー

代表取締役社長 鈴木 秀司氏

「スポーツで子どもたちを救う」

会 長	中 澤 陽 一
副 会 長	中 島 和 代
幹 事	細 田 長 司
副 幹 事	入 交 英 太
会報責任者	小 林 達 司

9月26日 例会

● ロータリーソング「それでこそロータリー」**● 今週のピアノ曲「Ya Ya（あの時代を忘れない）」** ピアノ演奏：宮地公美子会員**● 「Enjoy! あそびの広場～世界のおともだちと～」の報告**

日曜日、無事開催できました。大きなポスターを筒井印刷さんに作ってもらいましたが、これは事後報告の形で、当日のイベントの内容の写真もはめ込んでいます。

今朝の高知新聞22面にカラーで「世界の遊び 児童が体験」として掲載されています。また、KUTVさんにも取材していただきましたので、映像をご覧ください。子どもたちは延べ65名、兄弟、保護者を含めて150名以上が参加しました。

また、第一コンサルタンツの社員であるマンマーの方が1ブースを担当して、好評でした。運営をお手伝いくださった方、ご家族で参加された方、皆さまのご協力が無事に終了しましたのでご報告いたします。ありがとうございます。

**● 幹事報告**

- ・北条RCより例会日変更のお知らせが届いています。10月より2024年6月末まで第1と第3の火曜日の18時30分から
- ・10月3日は、クラブ創立夜間例会です。開始は、18時30分です。
- ・森本会員から、10月7日の中村RC60周年記念に参加される方に対してメールが送信されています。ご確認ください。

**● ゲストスピーチ****不登校でも夢は叶う！**

株式会社ブランド高知 代表取締役社長 中島 匠一氏



僕は、自分の「高知愛」をアピールする製品を作りたいと思い、一杯「高知」の文字を入れて、最初は財布、そして、名刺入れ、カバン等々を作っていました。高知家の家族が全国に広がり、高知愛を持ち歩くグッズになればいいなと思いました。企業理念は「斬新かつ高品質なイノベーションで世界を笑顔に」

話題になったきっかけは、お笑い芸人でノスタイルの石田さんが、よさこい祭りのときに高知に来ていました。その番組のコマーシャル中に「高知の財布というのを作っているんです。よかったらもらってください」と渡して僕はざっと消えました。次の日、あの子なんだったんだろうと、ネット上に投稿してくれたんです。そしたら、一気に全国の新聞、テレビ局から取材が来て、1年で2万個以上注文が入りました。

商法の問題で、アメリカのCOACHと掛けているんじゃないかと裁判になりかけたのですが、弁護士を通して話し合いをして、ブランド高知の商標も取得しています。

今、僕はいろいろやってきたと言っていますが、実は、中学校2年生から不登校でした。学校に行くとなるとお腹が痛くなります。事前にちゃんと支度をして身体を整えていても、玄関に立つとお腹が痛くなる。学校の門の前に来ると、

また痛くなるといった状態でもとても苦しかったんです。ADHD（注意欠陥・多動性障害）という障害があることが中学校2年生で分かりました。注意欠如、多動性、衝動性といって、例えば荷物を用意しなければいけない。用意してリュックの中に全部入れた。それにも1時間ぐらいかかりますが、その後、リュックを玄関に置いて、何も持たず学校に行く、みたいなことをやってしまう。そんなことで苦勞はしましたが、今は、いろんな人にこうやって説明できるし、ADHDの人にも温かい世の中になってきました。

僕は、それをどのように乗り越えてきたかという、高知市教育研究所のフリースクールです。これが一番の救いになりました。ここに通い、恩師の小西先生と出会ったことで人生が変わりました。僕が初めてここに行ったとき、死ぬんじゃないかというほど苦しくて、そのとき言ってくれたのが「学校に行けなくてもいいんだよ。君は大丈夫だ。自分を肯定してあげなさい」。ここから始まりました。学校の先生が、学校に行けなくていいんだよと言うとは思わなくて、とても感動しました。また「夢は口に出していくことで叶う」とも教えてもらいました。叶うという字は、十回口に出すと書きます。僕は、今でもやりたいこと、こうしたいということを10回以上、口に出すことを続けています。

（教育研究所の先生からのビデオレター）

教育研究所から高知北高校の定時制の昼間部に進学しました。ここを選んだのは「日本一温かい学校をつくりたい」という言葉が校訓にあったからです。北高校はとてもしい学校で、僕がちょっと変な行動をしても全然問題視せずに、伸ばしてくれる。元不登校の子たちがとても多かったことで、家族意識ができ、今でも仲良くしています。そこから、



何とかギリギリ大阪芸術大学に入りました。陶芸とか油絵とか、多くの専攻がありますが、一つのものに縛られずに、いろんなものを見聞きたいと思って、芸術計画学科に入りました。しかし、やはり授業を続けるのが辛くて1年休学しました。動かないと気がすまないというか、いてもたってもいられなくなるんですね。

大阪芸大では、一番尊敬している谷教授から「越境力に備え、分野を越えてトライすること」と言われたことが、自分の心に残って、とにかく分野を越えていろんなことをやっていく。例えば大学在学中には、ボランティアでマイノリティを支援する会社を立ち上げました。今は、引きこもりの居場所カフェとして、大阪の富田林に定着しています。

大学卒業後、高知柄デザインを発案しました。アラビア書道というものがありますが、カタカナをアラビア書道にするという新しいアイデアを思いつき、それで故郷に錦が飾れるようなデザインができないかと考えたとき「高知」が浮かびました。たくさん試作して、ようやくたどり着きましたが、商品として開発されるまでの裏には本当にさまざまな苦労がありました。東大阪には、日本でも精度の高い工場が多くあります。そこに頭を下げて回りましたが、何十万、何百万単位で作らないといけないなどと言われて全て断われました。

どうしようもないなという中で、とある議員さんがクラウドファンディングを始めてくれましたが、詐欺に遭って集めたお金を取られてしまう等々。こうなると日本ではしょうがない、世界で最高品質の物を作っているのはどこだろうと調べると中国にある。そのレベルの工場を探そうと、20万円を握りしめて中国に飛び出しました。見つけた工場で、翻訳機を使ってお願いして何とか作ることができました。それを僕が日本にハンドキャリアで持って帰りました。何回もタイヤが吹っ飛んで、新しい物に積み直して日本に持ってきました。

イベントやデパートでナップサックに入れて売り歩いたのですが、有名でもないのが最初は全然売れません。わらしべ長者じゃないですが、ようやくたどり着いたのが高知大丸さんでした。そこで販売しているときに通りかかったのが、最初にお話したノンスタイルの石田さんです。あのとき、高知大丸さんで販売していなかったら、今の私はないと思います。SNSでブレイクした後は、数千個とか数万個の単位で注文が来てしまって、これを作るためのお金を、まず親族から借金、生命保険の解約などして、ようやく用意しました。

何とか地元貢献したいと考えていましたので、高知県の観光パンフレットを作らせてもらって、購入していただいた商品の箱の中に入れて送ったり、しんじょう君ともコラボしました。地域おこし協力隊の方と一緒に猟に行ったり、高知県産のシカ皮の名刺入れを作りました。私の持つ技術は地元の高校生に教えています。他にも、自分が敏感肌でどの化粧品も合わなかったため、化学成分を全部調べて実験をしているうちに資格まで取って、東京の研究所に飛び込んで教えてもらって、化粧品を作りました。アトピー患者さんから治ったと言われて、めちゃくちゃ嬉しかったです。さらに、高知柄のスーツや全面高知柄の車を作ったり、クリアファイルやタオルやボールペンなども作っています。クリアファイルなどは、全面高知柄の1カ所にだけ企業名を入れるとそれで宣伝になりますので、ぜひご利用ください。

今後の展望としては、発明が止まらなくて、今、土佐和紙と液晶を組み合わせたものの特許を出願しています。スマホやタブレットの液晶に和紙を使える、そんな世界ができたらいいなと思っています。(映像紹介)

皆さん、錚々たる企業の方々ですので、何かコラボができること、僕がお手伝いできることがあれば、お申し付けください。



◎Enjoy! あそびの広場～世界のおともだちと～

9月24日 於/よさこいドーム
社会奉仕委員会・財団委員会

昨年に引き続き高知市内の子どもたちと高知県在住の留学生、高知で働く外国の方々との交流を図りました。2年目の今年は、各国の遊びやスポーツを通して市民との交流を深めました。参加した子どもたちは世界の国々がより身近に感じられ、異文化への理解を深めるきっかけになったと思います。また、外国の方々には今回の交流により地元への興味、愛着を持ってもらい、多文化共生社会への一助になればと思っております。



10月3日 クラブ創立 86周年記念夜間例会

● ロータリーソング「君が代」「四つのテスト」

● 会長挨拶

皆さん、こんばんは。今日は高知RC創立86周年記念夜間例会です。高知RCは、1937年10月2日に会員24名で創立されました。本日は、本当にラッキーなことに吉岡ガバナーがご来高中で、地区幹事の公式訪問委員の杉原さんと米山記念奨学委員会の久岡さんのお三方が例会に参加していただきました。

また、今日は普段とちょっと違った趣向の夜間例会として、佐竹前幹事のご紹介で、音楽を通してコミュニティの活性化を目指すということで、一般財団法人100万人のクラシックライブの蓑田代表理事、ヴァイオリンの青嶋さんとピアノの熊井さんにお越しいただきました。

最初に、蓑田代表からこのライブがどういう趣旨で始まったかをご説明いただいた後、コンサート、そして懇親会となります。この企画を多くの会員の皆さんにも知っていただき、次には私のところでも開催したいけど、つながっていったら幸いに思います。



● お客さま

◎ビジター

吉岡宏美ガバナー (徳島RC)
杉原孝典氏 (徳島RC)
久岡征司氏 (徳島RC)

◎燦燦奨学生

宮本 奏さん 高知大学 医学部看護学科4回生
森 清忠さん 高知大学 理工学部情報科学科3回生

◎米山記念奨学生

シティ ロダトゥル ファディラさん

◎ご家族

坂元 陽祐会員 坂元 晶子さん、陽菜さん (中2)、昭仁さん (小1)
杉本美美子直前会長 杉本 延一さん
中澤 陽一会長 中澤 佐紀子さん

◎アトラクション

一般財団法人100万人のクラシックライブ 代表理事 蓑田秀策さん
青嶋祥代さん (ヴァイオリン)
熊井麗音さん (ピアノ)



● ご挨拶

◎吉岡宏美ガバナー

昨日から3クラブの公式訪問で、こちらに来ておまして、何か素晴らしいお祝いの会があると聞きつけて、泊まっているのに挨拶をして帰らないといけないうねと。また、関パストガバナーをはじめ、私がガバナーになったとき、いろいろな面でご支援をいただき、教えていただいた大先輩もいらっしゃいますので、今日はぜひ寄せていただいご挨拶をして帰りたいということで、押しかけてまいりました。どうぞよろしくお祈いします。

昨日が創立記念日、そして今日、10月3日「とさの日」に合わせて、この会に参加できることを幸せに思います。これからいろいろな面で、皆さま方にお祈いしなければいけないことがありますが、今日は、寄付の話も、会員増強の話も、何もせずに皆さんと一緒に楽しませていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈いいたします。ありがとうございました。



◎米山記念奨学生 シティ ロダトゥル ファディラさん

私はインドネシアから来ました。高知工科大学修士の奨学生です。昨日から正式に博士課程の3年生になりました。1年で学業を終えなければならないので、少し緊張していますが頑張ります。パソコンのデータ収集や分析は地味な作業ですが、とても重要です。毎日ずっとパソコンの前にいるので、退屈





そうに見えますが、様々な国の学会に参加して研究発表する機会が得られたので、とてもうれしく思います。よろしく願います。

● 燦燦奨学生ご挨拶

◎森 清忠さん（高知大学理工学部情報科学科3回生）

私は現在、早期卒業生として学業に励んでおり、3年で高知大学を卒業する見込みです。実際に卒業研究以外の全ての単位は取っています。進路の候補としては、大学院に進学して研究に専念することを目的としており、大学院大学であるJAISTとNAISTの2校を受けて両方とも受かりました。もうあと半年ですが、ご支援いただければ幸いです。



◎宮本 奏さん（高知大学医学部看護学科4回生）

大学生活も残り半年ほどとなり、実習や講義もほとんど終わったので、現在は卒業研究と看護師の資格取得に向けての2点を主に取り組んでいます。卒業研究は「若年女性のロコモティブシンドロームとの実態と食習慣・運動習慣との関連」というテーマで取り組んでいます。ロコモティブシンドロームとは、運動器の機能障害によって移動能力に低下をきたした状態のことです。

実際、対象とした大学1、2年生にロコモに該当する人が数名いて、あとは分析をする段階で、とても楽しく研究に取り組んでいます。国家試験に関しても、皆さまからのご支援をもとに奨学金から参考書をたくさん購入でき、毎日少しずつ勉強に取り組んでいます。

残り少なくなりましたが、悔いのない大学生活にしていきたいと思っています。いつもご支援いただきありがとうございます。これからもよろしく願います。



● 蓑田秀策氏趣旨説明（一般財団法人100万人のクラシックライブ代表理事）

私が高知とご縁をいただいたのは、佐竹さんが最初です。2015年に活動を始めて46都道府県までは、比較的早い段階でコンサートを実施したのですが、なぜか高知県だけがずっと残っていました。今年初めて高知で、佐竹さんの龍馬学園の幼稚園や中澤会長のところまでコンサートをさせていただき、これで47都道府県全て揃いました。

100万人のクラシックライブは、日常に音楽があふれるまちをたくさんつくりたい。生の演奏を間近に聞くことによって生まれる感動をつうじて、人と人がつながる場づくりをしていきたいというのが、我々が目指すところです。同時に演奏家が生活していけるような環境をどんどんつくっていききたいというふうにも思っています。

日本はバブルが弾けて33年経ちますが、その間に、日本社会は極めて深刻な事態に立ち至ったと私は思っています。人と人とのつながりが希薄化してきた。若い人たちのジェネレーションの問題ではなくて、特に都会がそうですが、人のことなんかかまっていられないという状況で、隣に誰が住んでいるか。近所の人が困っていても関係ないよね、まずは自分のことで精一杯ということがたくさん散見されます。

私は昭和26年生まれて72歳ですが、子供のときに経験していた日本の社会とは、様変わりしてしまったと思います。特に知らない人、あるいは他人との付き合い方というのは、極めて難しくなっていて、それがもたらす負の影響は、皆さんも日々ご覧になっていると思いますが、隣の部屋で虐待が起こっていても知らん顔、近所で老老介護で困っていても知らない顔、どこかに非常に貧しい家庭があっても何もしない。昔であれば、ちょっとおかしな何かを作って届けたり、もらったもののおすそ分けとあったことがありますが、そういうことはどんどんなくなって、私を感じるには、個人が完全に社会の中で孤立をしまった状況になっている。それで、うちに籠もった負のエネルギーが暴発する人もいるでしょうし、自ら命を絶つ人もたくさんみられます。

そういう社会はやはり住みにくいと、個人的にも思っています。では、住みにくくない世の中にするためにはどうすればいいか。人と人がつながる機会をたくさんつくる。高知は熱いところという印象があって、皆さん本当に熱い方が多くて、人にも優しい気がします。ですが、日本全体で見ると、やはりなかなかそうはいかない。私としては、こういう活動を通じて、音楽で世の中を豊かに、あるいは心豊かに、楽しい社会にしていきたいと思う一方で、社会の流れの中から取り残されて孤立をしている人たちにも、たくさん音楽を聴いていただいて、明るい世の中にしていきたいと思っています。

私たちの活動はコンサートホールの外に飛び出して、あらゆる場所で演奏をしています。スポーツクラブ、オフィス、保育園、お寺、ショッピングモール、駅、空港、どこでもコンサートができますので、今流行りの言葉でいうとアウトリーチ、出かけて行ってコンサートをお届けしている団体です。

2022年度の開催実績は570回。地元企業とのネットワークとしてイオンモールと包括連携協定を結んでいて、全国のイオンモールでコンサートをやりましょうということになっています。共催ですのでコストも非常に安く済みます。高知のイオンモールでも、これからコンサートをすることになっています。また、自治体を含めて、たくさんの人たちと手を組んでコンサートをしています。



我々の考える活動のあり方は、地域コミュニティのハブづくり、地域課題の取り組み施策という行政と地域の企業、住民、学校と我々が3者で手を組んで、コンサートをやりながら人と人がつながる社会をつくっていかうのではないかと考えています。分かりやすくいうと、仲間が集って、みんなでワイワイコンサートをやろうよということです。例えば兵庫県では、飲み仲間の社長のグループが集まって1社1回、1年間毎月、場所は老人ホーム、保育園、自分の会社、市役所のロビー等々、いろんな形でコンサートを開いています。私はこの例が一番、いろんなところで可能になるやり方ではないかと思っています。1人が頑張るのではなく、みんなで手を組んで、しかも行政まで巻き込んで非常に面白い例だと思っています。今、姫路、加古川、明石でも進んでいて、年間10~12回のコンサートが開催されています。

本日お集まりの皆さんは、高知で大きな影響力をお持ちの方たちだと思いますので、高知の各地でコンサートが開けたら、また、行政にも声をかけて一緒にできるネットワークができれば、無理なくこの輪が広がっていきます。

最後に、子どもプロジェクトについて。子どもたちに音楽を届けるプロジェクトを別に走らせていて、これは困難な状況にある子どもたちに音楽を届ける活動です。子ども食堂、ヤングケアラー、学習支援の場、障害者・児童養護施設、母子生活支援センター等々に音楽を無償で届けています。その原資は全国から集まる寄付で成り立っています。収益を上げるための株式会社ではなく一般財団法人ですので、開催費用は1回大体10万円程度。コストさえ出れば良いと思っていますが、まだまだ赤字です。

今まで37都道府県、311回のコンサートを開催しました。おかげ様で、今年は47都道府県全てで、1年間で900回のコンサートができる予定です。来年は1000回を超すことも分かっていますが、目標は年間2万回ですので、1000回というのは単なる通過点に過ぎないということです。

これからも、様々な人たちと手を組んで、全国各地で町に音楽があふれるように頑張っていきたいと思っています。ここからは、2人の演奏をどうかお楽しみください。





😊 ニコニコ箱 【敬称略】

〈9月26日〉

- 中澤 陽一 } 先週末の合同委員会交流会に会長幹事が揃って遅刻したので、2人でドーンとお詫びのニコニコです。
細田 長司 }
川崎 敦子 } 9月18日、第3回要法寺邦楽ホームコンサートを無事に終えることができました。ご来場くださった皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございます。来年も11月に行う予定です。聴き逃された方もぜひ尺八の音色をお楽しみにお出かけくださいませ。
- 中澤 清一 } おせちの予約が始まりました。今年は最大14枚の温泉券がついてきます。最近少なくなった冷凍でないおせちはいかがでしょうか。
- 右城 猛 } 日曜日のエンジョイ世界の遊びでは、ミャンマー出身の3人の社員が、日本の子どもたちとともに楽しそうに遊んでおり、嬉しくなりました。ニコニコします。
- 長井 啓三 } 9月13日の妻の誕生日に素敵な生花を贈っていただきありがとうございました。大変喜んでおります。当日は津野会員の弟さんが経営される帯屋町の居酒屋、酒と肴「ふらんく」のオープンの日でした。開店早々に2人で利用させていただき、美味しい料理とお酒で楽しく過ごすことができました。サプライズで誕生日のケーキで祝っていただき、開店の応援で忙しく手伝いをされていた津野会員と、お客として居合わせた寺本会員、西岡会員とも楽しく交流させていただき、感謝の気持ちでニコニコいたします。
- 亥角 政春 } 家内の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。
宮地 貴嗣 } 妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。中島さん、高知ブランドの名刺入れ使ってます。どこに行っても高知をアピールできます。皆さまもぜひご使用ください。
- 森本 征彦 } 先日のゴルフ33会で絶好調、優勝させていただき嬉しくなり練習に励みました。良い球が打てて喜んでいましたが、股関節を痛め、先日の土佐カントリー月例ではドタキャンし、パートナーに大変ご迷惑をかけました。お詫びにニコニコします。
- 森田 陽介 } 先日は大丸、小島社長のご厚意でOMACHI360にて、SAA・会員選考・増強・プログラム委員会の皆さまと交流会を開催させていただき、また皆さんとニコニコできました。次回10月24日は、SAA・広報・ロータリー情報・クラブ奉仕委員会の皆さまと津野会員が新規オープンされた「ふらんく」にて開催します。改めて案内を送りますのでよろしく願いいたします。そして、先ほど会長からアナウンスいただいたとおり、11月23日には「復活親睦日帰りバスツアー」も決行します。こちらも改めてご案内させていただきますので、皆さまスケジュール調整のほど、何とぞよろしく願い申し上げます。引き続き、ニコニコ親睦よろしくです。
- 西岡 剛 }

〈10月3日〉

- 吉岡 宏美 } 86周年、おめでとうございます
ガバナー
(徳島RC)
- 杉原 孝典 } 創立86周年、おめでとうございます。本日はよろしく願いします
(徳島RC)
- 久岡 征司 } 創立86周年、誠におめでとうございます。ガバナー公式訪問の随員として高知に来訪のところ、西岡会員に声をかけていただき、急遽参加させていただくことになりました。高知RCの皆様とご一緒できることを大変楽しみにしております。
(徳島RC)

◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	10月11日	創立記念夜間例会(阪)	高知北RC	10月16日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	10月17日→18日	4RC合同夜間例会に振替(高)	高知西RC	10月20日→18日	4RC合同夜間例会に振替(三)
高知ロイヤルRC	10月24日	ロータリー休日(高)	高知南RC	10月26日	例会場変更(阪)
高知中央RC	11月 2日	文化の日に振替の為休会(城)	高知北RC	11月 6日→3日	野外例会に振替(三)
高知南RC	11月 9日	創立記念夜間例会(阪)	高知 R C	11月14日	ロータリー休日(三)
高知南RC	11月16日	例会場変更(阪)	高知中央RC	11月16日	職場例会(城)
高知北RC	11月20日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	11月21日	定款第8条第1節により休会(高)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (高)…高知プリンスホテル



🌹 10月のお祝い

(会員誕生日)	岩田 和久	水野 大樹	新谷 竜司	津野 泰孝	各会員
(配偶者誕生日)	隅田 由紀	筒井美千子	右城 絹枝	松岡 厚子	
	岡 美智	山崎 るみ	中澤 芳江	各会員配偶者	
(結婚記念日)	寺田 文彦	寺本 武司	藤原 文也	古谷 純代	小林 達司
	高橋 淳二	正延 知行	中澤 陽一	南 範子	各会員

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
9月26日	(-9)90	57	14	10	82%
9月 5日	(-8)90	61	6	15	92%

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
10月 3日	(-8)90	49	17	16	79%
9月12日	(-10)90	51	10	19	87%

● 累計額 [10月3日現在]

ニコニコ箱	245,800円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	112,829円	ポリオ募金	132,300円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [10月17日]

ガバナー補佐訪問例会
高知第II分区ガバナー補佐 吉村保利氏

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目3-39 高知放送南館8階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>